

2022年4月11日設立!

# 全員参加による地域未来創造機構

発行: 全員参加による地域未来創造機構 発行責任: 半澤彰浩



全員参加による  
地域未来創造機構

未来機構は神奈川の非営利・協同の14団体が参加して設立しました。

写真は、未来機構設立時の理事・監事

## 設立にあたって

2022年2月に開始されたロシアによるウクライナへの侵略戦争は3カ月も続いており、未だ終結の見通しが無い。この戦争は一刻も早く止めるべきだが誰も止めることができない状況だ。第2次世界大戦終結から77年を経た現在、国連をはじめとして機能しないことがわかり時間が戦前に戻ったような感じがします。世界の経済をはじめとする情勢は一気に不透明になってきていて先行きが見通せない状況があります。5/18に国連グテーレス事務総長は戦争の長期化により世界的な食料危機への懸念が高まっている。数カ月内に「何千万人もが栄養失調や飢餓に陥る恐れがある」として、各国が連帯して行動する必要性を発表しました。特にアフリカや中東に食料不足がおき社会が不安定になれば多くの移民や難民が生じると、警鐘を鳴らしています。人を殺傷する武器を使って従わせようという行為を止められないことに対して、私たちは地道に私たちが住み暮らす地域で問題解決のために人びと

が連帯して小さなアソシエーションを地域に無数に広げネットワークしていくこと、そのために本来、人が持っている市民としての主体性を引き出していく機会を創出する、そうしたことが社会を変えていくと考えて本組織を設立しました。

戦争、コロナ禍、気候変動と今ほど人の命(いのち)と尊厳が損なわれている時代はないのではないのでしょうか。この社会は以前よりもさらに弱い人がより傷つく社会になっていないのでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大はシングルマザーや非正規雇用で働いている人たちを直撃し新自由主義的な政策によって格差社会が拡大し、しかも自己責任という言葉とともに結びつきのない社会を生みだしてきています。私たちとつながるすべての命(いのち)、そのつながりそのものを守ることがこれからの時代とても大切です。「いのち」のつながりを広げていきましょう。

未来機構 理事長 半澤彰浩

年4回、季刊発行する未来機構広報紙の名称を募集します。右記までぜひお寄せください。✂切7/31

全員参加による地域未来創造機構(略称: 未来機構)

〒222-0033横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F  
Tel:045-534-7131 fax:045-534-7151 e-mail:minnano@miraikikou.org

## 「未来機構」とは？

### わたしたちがめざすもの・・・

地域の人と人のつながりの希薄さ、社会的孤立、子どもの貧困・格差等々を、大きな社会的課題としてまた自分自身の問題としても認識した多くの人たちが、居場所や子ども食堂など、だれもが住みやすい地域づくりをめざして活動に取り組んでいます。

そういった自律的に活動するアソシエーション※を増やし、そのネットワークづくりによって人と人のつながりから地域社会を豊かにしていくことは、これからの超少子高齢社会において私たちだれにも関わる大切なことであり、大きな希望へとつながるものです。

全員参加による地域未来創造機構(未来機構)は、神奈川の非営利・協同を旨とする団体が参加し、多様なアソシエーションによる地域のたすけあいや支え合いをともに進め、個々人の不安を乗り越え、適応力、回復力のある持続可能な地域をつくっていくことをめざします。

講座・研修機能、相談・支援機能、調査・広報・連帯機能の3つの機能を中心に、意識あるおおぜいの市民の方々とともに活動に取り組みます。

※アソシエーション:共通の目的や関心をもつ人々が、自発的につくる集団や組織。

## 事業・活動内容

### 講座・研修機能

#### ★市民基礎講座

地域を豊かにする活動を担う人をおおぜいにするー市民基礎講座:スタートから実践まで継続してサポートします。

#### ★リーダー講座

地域を豊かにする活動を推進するリーダー講座:必要な知識や実践的なノウハウを学びます。

★必要に応じて資格取得やキャリアアップにつなげられる講座・研修を企画・実施します。

### 相談・支援機能

#### ★スタートアップ相談～フォローアップ対応

地域に役立つ活動をはじめたい、何から始めたらいいかわからない、いっしょに活動する仲間をみつけない・・・などなど、そんな相談に応えます。

#### ★現場支援バックアップ

地域で実際に活動する人たちによる応援を受けて、活動づくりをいっしょにすすめることもできます。

#### ★さまざまな専門性を持つ人とのネットワークづくり

地域で活動するときさまざまな専門性をもったたくさんのサポーターがいたら心強いもの。そのネットワークづくりをお手伝いします。

★調査活動サポートやファンドレイジング(資金調達)の相談も。

### 調査・広報・連帯機能

#### ★広報機能

★活動の連絡会・交流会開催

★連帯機能の開発

★学習会、フォーラム、イベント等の開催

★アソシエーション活動実態調査

★行政情報の把握と課題整理等

# 8月、9月は横浜エリアで講座開催します!

会場はいずれも新横浜オルタナティブ生活館

10月、11月は川崎エリアで開催予定!

## 市民基礎講座

★あなたのスタートから実践まで伴走します。★

		区分	テーマ	講師・進行等	ポイント・ねらい	
1 日目	8月4日 (木) 10:00～ 12:30	5分	オリエンテーション	未来機構 講座企画運営委員会	本講座の主旨を理解する。	
		25分	自己紹介		受講動機や講座への期待など	
		60分	講義	私たちの生活を取り巻く社会の現状と近未来	生活クラブ生協理事長	現在そして近未来に予測される地域の課題について考える。
		60分	事例共有	居場所やサロン、たすけあい活動の実際	NPO法人、アソシエーション等	さまざまな参加の入り口があり、人と人のつながりが「楽しそう」と思える場があることを知る。
フィードバックシート						
2 日目	8月11日 (木・祝) 10:00～ 12:00	60分	講義 意見交換	市民参加によるおたがいさまのたすけあいを地域に広げる	NPO法人W.Co協合理事長 上田祐子氏(W.Coキャンディ)	進行する人口減少・超少子高齢社会、市民の活動の意味は?何をめざすのか?
		60分	グループワーク	地域・生活にある「自分ごと」についてのプレーストリーミング	ファシリテーター 岡田百合子氏(W.Co協会)	自らの考えや問題意識を整理する。超・少子高齢社会の当事者であることを意識する。
		フィードバックシート				
3 日目	8月25日 (木) 10:00～ 12:00	120分	フィールドワーク	居場所やサロンの立ち上げと運営	NPO法人、アソシエーション等	参加を広げる手段、資金や運営に関わる工夫など。
フィードバックシート ※アンケート集約						
4 日目	9月5日 (月) 10:00～ 12:00 (個別相談除く)	90分	グループワーク	講座の振り返りと今後の活動について	ファシリテーター 岡田百合子氏(W.Co協会)	グループでの自由討議から自分自身の今後の活動について考えてみる。
		30分	修了式		講座企画運営委員会	
		60分	個別相談会	※希望者のみ		

## リーダー講座

	日程	時間	区分	テーマ	講師・進行等	ポイント・ねらい
1 日目	8月31日 (水) 10:00～ 14:30	5分		オリエンテーション	未来機構 講座企画運営委員会	本講座の主旨を理解する。
		25分		自己紹介		アイスブレイク、受講動機や活動アピール等
		90分	講義 意見交換	地域の課題を解決するための市民活動の意義と実践	W.Co連合会理事長	格差・貧困、孤立等々、地域の課題を個別多様なアプローチで解決していこうとするときに主体となるのは誰なのか?
		60分	休憩			
2 日目	9月6日 (火) 10:00～ 14:30	90分	講義 意見交換	介護、子育て、困窮者支援等、制度・政策と私たちの暮らし	中島圭子氏(参加型システム研究所客員研究員)	法律や制度が生活と密接につながっていることを実感できる。
		120分	講義	傾聴の基本	松尾隆義氏(NPO法人パートナーシップアンドリスニングアソシエーション代表)	傾聴とは何か?傾聴の理論と技法について学ぶ。
		60分	休憩			
3 日目	9月14日 (水) 10:00～ 15:00	90分	講義/ロールプレイ	コミュニケーション力を高めるために	松尾隆義氏(NPO法人パートナーシップアンドリスニングアソシエーション代表)	相手との信頼関係を築くためには?「伝える力」と「受け取る力」を高めるために必要なことを学ぶ。
		120分	講義/実習	地域アセスメントの意味と手法	社会福祉法人いきいき福祉会 職員	地域の生活支援ニーズや地域資源の現状を捉え、課題解決へ向けたネットワークづくりの重要性を学ぶ。
		60分	休憩			
4 日目	9月19日 (月・祝) 10:00～ 15:00	120分	事例共有/意見交換	コミュニティ・ソーシャルワークの実際	樋口敬子氏(藤沢市社会福祉協議会地域福祉課長)	コミュニティ・ソーシャルワークとは何か?地域の人々と連携しながら、生きにくさを抱える人々たちを包摂しようとする活動への理解を深める。
		60分	事例共有/意見交換	地域の非営利市民事業・活動の意義と実際	W.Co協会	生きにくさを抱える人々たちをも包摂しようとする活動の意義と実際について理解を深める。
		120分	講義/グループワーク	参加型の組織運営力を高めるために	ファシリテーター 荻原妙子氏(かながわ生き生き市民基金)	理念や目標の共有、情報共有のノウハウ等、チームのリーダーに求められる役割や心構え、目的を実現するために重要なことは?
5 日目	9月28日 (水) 10:00～ 12:00	120分	フィールドワーク	居場所やサロンの運営の実際	NPO法人、アソシエーション等	立ち上げの動機や合意のとおり方、地域(自治会・町内会等)との関係、広報、ボランティアの関わり、資金調達の工夫など。
レポート						3



# 一般社団法人 あそびの庭(二宮町)



コンテナを改装した「はらっぱベース」の前で。子どもも大人もみんなで協力してひさしを張り、デッキをつくった。  
左から渡辺さん、杉本さん、高砂さん、小野寺さん。

さわやかに晴れた5月のある日、二宮町東京大学果樹園跡地(約3ヘクタール)にある「みらいはらっぱ」には、子どもたちの楽しそうな声が響きわたる。2021年11月から(一社)あそびの庭のメンバーがコンテナを改修した木の香り漂うコミュニティスペースをオープン。その名も「はらっぱベース」。だれでも来て、ごろんとゆっくり本を読んだり、ボードゲームをしたり、畑で花を育てる…とか、やってみたいことをやってみられる場。

代表の渡辺優子さん、事務局長の高砂庭子さん、理事の小野寺裕美さん、杉本かお里さんが、明るい日差しの中で元気に遊びまわったり、宿題をする子どもたちやお母さんたち、通りかかった近所の高齢の女性と楽しそうに言葉を交わしていました。

## 「あそび」で寛容な社会を

「あそびの庭」の設立メンバーは、その4人に広報担当の二宮尚広さんを加えた5人。

企業を退職し、二宮のプレーパークなどで活動していた渡辺さんは、「あそび」でもっと社会全体を寛容で豊かなまちにできないかとイメージを膨らませてはいたものの、あと一歩が踏み出せないでいた。そんな時に知人の紹介で二宮にUターンしてきたばかりの高砂さんに出会い、すぐに意気投合したことがこの活動の始まりになった。それまで一緒に地域活動をしていた仲間を誘い、2020年に任意団体を立ち上げ、2021年2月に一般社団法人を取得。

## 温かいまなざしの発信を大事にしたい

「あそびの庭」というコンセプトはあったものの、それをテーマにまちづくりにつなげること、どんな活動をつくりだすか、どんな言葉を紡ぎ出したらみんなに伝わるか、来る日も来る日も話し合った。遊びの本質は魂が喜ぶこと、遊びと学びは表裏一体…子どもを真ん中に、大人が目線も変えていきたい、何もしない「ひま」を楽しむ余裕を持ちたい…自分自身の感覚に向き合い、体の奥底から出てくる言葉、温かいまなざしの発信を大事にしたいと思った。二宮町全体をよくしたい、本気で「あそび」ことを本気で考えている。

## 何もないけどそれがいい

ここには何もないから新しい活動がどんどん生まれ、その相乗効果も出てきていると感じている。2020年秋に行った「あそびの庭キャンプ」は日帰りでも一泊でも参加でき、140人が参加。遠くに行かなくても近くで非日常が体験できる場として「満月を見る会」「きこりアクティビティ」等々の企画は大好評。「五感を使う」「あそび心ある暮らし」「地元の資源を活用」というあそびの庭ならではのキャンプスタイルを提案した。2021年は「春のにのみや暮らし市」「冬のにのみや暮らし市」を開催。マルシェとプレーパークを一体にし、子どもも大人も楽しめる企画には、2回で延べ82の出店、約1400人が参加。そのほか、二宮町をもっと知る「大人の遠足」、コロナ禍の一斉休校時には、得意分野をもつ父ちゃんたちが立ち上がり、野外に出て算数、理科、国語、社会につながる内容を学ぶ「父ちゃんたちの課外授業」など、ユニークな活動が次々に。

## まち全体で子どもの居場所をつくる

活動経費は「あそび人」という名の会員会費(1口1000円)、リサイクル品、農産物を介した寄付などから捻出している。(公財)かながわ生き活き市民基金の助成金で「はらっぱベース」の家賃をまかなえた。地に足をつけて活動し、少ないお金でもおおぜいの人々が参加して子どもに循環するしくみをつくり、町全体で子どもの居場所をつくっていききたいと、口をそろえて語ってくれました。



いま、畑ではジャガイモを育てている。



あそびの庭



寝そべっても、宿題しても、木登りでも、大声で叫んでも、走り回ってもなんでも大丈夫

発行：2022年6月20日

発行者：全員参加による地域未来創造機構(略称：未来機構)

〒222-0033横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F

Tel:045-534-7131 Fax:045-534-7151 E-mail:minnano@miraikikou.org